

第5節 健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営、救急医療対策事業、予防接種事業、健康診査事業、健康づくり事業、がん患者支援事業である。

保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営では、栃木保健福祉センター及び藤岡保健福祉センターは直営で行い、また、大平健康福祉センター、岩舟健康福祉センター及び北部健康福祉センターは指定管理者に管理運営を委託し行った。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めるとともに、休日歯科診療を実施した。また、市有施設等に配置した自動体外式除動器（AED）を適切に管理した。

予防接種事業では、感染症予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づく定期予防接種の実施、任意予防接種の費用助成を行った。

带状疱疹予防接種については、4月から定期予防接種B類疾病に位置づけられたことから、65歳の方及び経過措置の対象となる方について個別勧奨を行い、費用助成を実施した。また、令和6年度に50歳以上の方を対象に開始した任意予防接種の費用助成については、定期接種化に伴い令和7年3月31日で終了とした。

その他、スマートフォン等で接種間隔錯誤や接種忘れの防止が確認できる「栃木市すくすくナビ」アプリの提供を実施したほか、予診票の電子化に向けて、ヒトパピローマウイルス感染症を除く定期接種A類疾病及びおたふくかぜの予防接種について市内の27医療機関でデジタル予診票を導入し、利用者の利便性の向上に努めた。

がん検診等事業では、集団検診での基本健診と各種がん検診等実施のほか、個別検診では子宮がん、乳がん、歯周病検診及び口腔がん検診を実施した。

受診券等については、個人別にまとめた「けんしんパスポート」及び検診の実施方法を記載した「けんしんガイドブック」を各世帯に送付したほか、検診受診の意識を高めるため「健康マイレージ事業」を実施するなど、受診率向上に努めた。

健康づくり事業では、生活習慣病の発症・重症化予防のため、特定保健指導や運動、栄養、口腔等に関する相談及び健康教育事業の実施や、官民連携の取り組みとして、「クーリングシェルト」や「ちょこっと涼み処」の指定、「熱中症対策標語コンテスト」の実施等を行う熱中症対策や、健康づくりに関する情報提供や体力測定といった支援を通して職場内での健康づくりを促進するエクサビズ登録事業所事業を実施した。

がん患者支援事業では、医療用ウィッグ、乳房補整具購入費の助成や、若年がん患者の在宅ターミナルケアにかかる費用を助成し、がん患者やその家族を支援した。

健康医療係

1 保健福祉センター利用状況（利用延べ人数）

(1) 栃木保健福祉センター

(単位：人)

区 分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合 計
利用者数	-	15,290	395	11,121	26,806

(2) 藤岡保健福祉センター

(単位：人)

区 分	会議室	検診ホール	調理実習室	合 計
利用者数	3,101	4,965	509	8,575

2 大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託(指定管理)し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数

(単位：人)

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	92,555	130,733	153,313

・開館日数 308日

・1日平均利用者数 498人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室1	研修室2	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	総合計	開館日数(日)
4	8,477	2,398	75	82	423	55	0	261	64	0	11,835	26
5	8,650	2,468	125	51	283	68	0	262	89	37	12,033	27
6	8,012	2,375	99	97	352	235	0	483	190	12	11,855	25
7	7,678	2,556	115	93	482	212	0	589	222	27	11,974	27
8	8,589	2,689	122	99	472	205	0	536	234	10	12,956	27
9	7,933	2,644	151	118	534	216	38	599	298	27	12,558	25
10	8,853	2,631	95	138	529	257	0	849	297	51	13,700	27
11	9,453	2,594	168	120	602	128	50	644	165	10	13,934	26
12	8,521	2,393	56	152	478	51	0	667	196	32	12,546	24
1	8,472	2,428	76	146	571	266	82	387	239	25	12,692	24
2	9,104	2,518	135	165	349	137	44	476	127	48	13,103	24
3	10,094	2,779	121	91	295	106	0	530	74	37	14,127	26
合計	103,836	30,473	1,338	1,352	5,370	1,936	214	6,283	2,195	316	153,313	308

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア はじめてのヨガ

開催回数 4 教室(40 回)

参加延べ人数 54 人

イ ZERO エアロ

開催回数 2 教室(12 回)

参加延べ人数 10 人

ウ 欲張りフィットネス

開催回数 3 教室(18 回)

参加延べ人数 53 人

3 CITY GYM & SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

管理運営を、宮ビルサービス株式会社・株式会社日本理化シェアードソリューションズ共同事業体に委託（指定管理）し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数 (単位：人)

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	70,945	76,815	83,181

・開館日数 307日

・1日平均利用者数 271人

・月別内訳 (単位：人)

区 分 月 別	風 呂	ト レ ー ニ ン グ ル ー ム	第 1 第 2 会 議 室	検 診 室	ボ ラ ン テ ィ ア 室	親 子 室	調 理 実 習 室	健 康 相 談 室	生 活 相 談 室	総 合 計	開 館 日 数 (日)
4	4,315	1,109	223	324	5	30	25	0	0	6,031	25
5	4,427	1,210	97	163	3	48	67	0	0	6,015	27
6	4,336	1,170	370	715	3	61	20	0	0	6,675	26
7	4,065	1,135	889	884	0	146	51	0	7	7,177	25
8	4,558	1,192	517	606	0	78	45	0	13	7,009	27
9	4,428	1,221	460	739	0	78	50	0	0	6,976	26
10	4,431	1,367	685	738	0	69	22	0	0	7,312	26
11	4,732	1,189	396	1,267	7	66	29	0	0	7,686	26
12	4,807	1,151	416	576	0	31	85	0	0	7,066	25
1	5,014	1,061	553	399	0	42	43	0	0	7,112	24
2	4,927	1,141	573	179	0	84	6	0	0	6,910	24
3	4,968	1,248	147	752	14	76	7	0	0	7,212	26
合計	55,008	14,194	5,326	7,342	32	809	450	0	20	83,181	307

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア ヨガ教室（体を鍛えながら、楽しく運動をするヨガ教室）

開催回数 35回

参加延べ人数 650人

イ カイロプラクティック体験施術会

開催回数 23回

参加延べ人数 295人

ウ ネイル・フェイシャル施術

開催回数 4回

参加延べ人数 9人

エ フットケア体験会 6回

参加延べ人数 11人

オ カラオケ大会

開催回数 6回

参加延べ人数 60人

カ 歌謡ショー（地元の歌手を中心としたショー）

開催回数 30回

参加延べ人数 2,250人

4 北部健康福祉センター「ゆったり～な」

管理運営を、株式会社フクシ・エンタープライズに委託（指定管理）し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数

（単位：人）

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	38,095	47,994	57,199

・開館日数 305日

・1日平均利用者数 188人

・月別内訳

（単位：人）

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	歩行用プール	会議室	多目的ホール	相談室	和室	調理実習室	プレイルーム	総合計	開館日数（日）
4	427	1,989	1,330	30	86	0	107	0	115	4,084	26
5	544	1,958	1,224	0	177	0	110	0	255	4,268	26
6	496	1,816	1,564	44	618	0	159	47	281	5,025	26
7	361	1,830	1,682	42	301	0	237	64	362	4,879	26
8	417	1,865	1,690	162	630	67	287	165	359	5,642	27
9	497	1,763	1,486	80	345	50	132	0	285	4,638	25

10	421	1,987	1,490	106	299	50	126	0	214	4,693	26
11	508	1,866	1,388	83	249	100	140	39	290	4,663	25
12	595	1,796	1,351	40	409	14	115	0	251	4,571	24
1	615	1,819	1,349	41	290	25	84	28	242	4,493	23
2	684	2,026	1,373	0	139	0	91	47	233	4,593	24
3	784	2,293	1,628	49	375	0	176	0	345	5,650	27
合計	6,349	23,008	17,555	677	3,918	306	1,764	390	3,232	57,199	305

※風呂の利用者数は、単独利用者数を計上。トレーニングルーム及び歩行用プール利用者は風呂を無料で利用可としている。

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア 有料教室

開催回数 398 回

参加延べ人数 3,230 人

イ 無料教室

トレーニングルーム・歩行用プール利用者が施設使用料のみで参加できる教室

開催回数 63 回

参加延べ人数 595 人

ウ イベント「Link」（関連施設と連携して「世代間交流」を目的とした独自イベント）

開催回数 4 回

参加延べ人数 492 人

5 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

・場所 栃木市役所本庁舎正庁

・採血事業者 栃木県赤十字血液センター

実施日数 (日)	受付 (人)	200ml献血 (人)	400ml献血 (人)	献血者計 (人)	不適格者 (人)
6月20日	112	3	100	103	9
10月24日	90	3	80	83	7
2月20日	97	3	94	97	0
3	299	9	274	283	16

6 とちぎメディカルセンター運転資金貸付事業

・貸付名称 とちぎメディカルセンター運転資金貸付金

・用途 とちぎメディカルセンターが開設するしもつがの運営に要する運転資金

・貸付金額 5億円

・貸付期間 4月1日から3月31日

7 救急医療対策事業

(1) 初期救急医療

栃木地区急患センター

- ・管理運営 一般社団法人 下都賀郡市医師会（指定管理者）

ア 夜間、休日診療

- ・診療時間 平日（月曜日～土曜日）……………内 科 午後7時～午後10時
休日（日曜日・祝日・年末年始）…内 科 午前9時～午後 9時
外 科 午前9時～午後 5時

診療日数（日）			延べ患者数 （人）	うち小児患者数 （人）
平日	休日	合計		
293	72	365	3,783	491

イ 小児救急診療

- ・診療時間 休日（日曜日・祝日・年末年始）…小児科 午後6時～午後 9時

診療日数（日）	延べ患者数（人）
72	905

(2) 二次救急医療

ア 病院群輪番制病院運営等補助事業

夜間及び休日において、入院治療を必要とする救急患者の医療を確保するため、栃木医療圏内で体制整備を図り、病院群輪番制に参加する2病院（とちぎメディカルセンターしもつが、獨協医科大学病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

病院群輪番制病院	当番日数（日）		延べ患者数 （人）
	夜間	休日	
とちぎメディカルセンターしもつが	242	51	4,229
獨協医科大学病院	123	22	2,790
合 計	365	73	7,019

栃木医療圏における輪番病院以外の救急告示病院（藤沼医院、多島外科胃腸科、とちぎメディカルセンターとちのき）に対し、二次救急の充実・強化を図るため、救急車受入件数に応じ補助金を交付した。

輪番病院以外の救急告示病院	受入件数（件）
藤沼医院	160
とちぎメディカルセンターとちのき	76
多島外科胃腸科	9
合 計	245

なお、西方地域は鹿沼医療圏であるため、鹿沼市が鹿沼医療圏において病院群輪番制に参加する3病院（上都賀総合病院、御殿山病院、西方病院）に対し、その運営を支援するため同事業補助金を交付したことから鹿沼市へ負担金を支出した。

- ・負担金額 4,240,830円

イ 小児二次救急医療

夜間及び休日において、入院治療を必要とする小児の救急患者の医療を確保するため、栃木医療圏と鹿沼医療圏とで体制整備を図り、小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

小児二次救急医療機関	当番日数（日）		延べ患者数 （人）
	夜間	休日	
獨協医科大学病院	365	73	1,173

8 休日歯科診療事業

ゴールデンウィークやお盆、年末年始の歯科医院が休診となる長期休暇中でも、歯科救急患者が診療を受けることができるよう、休日歯科診療を実施した。

- ・実施体制 一般社団法人 下都賀歯科医師会による市内歯科医院の輪番制
- ・診療時間 午前9時～正午、午後1時～午後3時

実施期間（日数）		受診者数（人）
G W	5月3日～6日（4日間）	19
お盆	8月13日～15日（3日間）	18
年末年始	12月30日～1月4日（6日間）	55
合 計（13日間）		92

9 自動体外式除細動器（A E D）整備・貸出事業

市内の公共施設及びコンビニエンスストアに設置しているA E Dを適切に管理した。

- ・公共施設 109台（貸出用6台・広告付き7台含む）
 広告付きA E D設置箇所 栃木市役所本庁舎、
 大平・藤岡・西方・岩舟総合支所、
 栃木保健福祉センター、栃木図書館
- ・コンビニエンスストア 14台
 設置箇所 セブンイレブン 栃木平井町店、栃木大森町店、栃木泉川町店、
 栃木大塚町店、大平西野田店、藤岡町藤岡店、
 都賀大柿店、栃木都賀合戦場店、西方バイパス店、
 岩舟静和店
 ファミリーマート 栃木沼和田店、栃木大橋店、栃木尻内店、
 栃木大皆川店

市内で開催される各種行事において、参加者が心肺停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する団体へ自動体外式除細動器（A E D）の貸出しを行った。

- ・貸出申請件数 24件

10 地域医療対策基金積立事業

（単位：円）

令和6年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和7年度末現在高
20,365,296	0	0	20,365,296

11 骨髄移植ドナー支援事業

骨髄又は末梢血管細胞を提供した方（ドナー）の負担を軽減し、骨髄移植の推進及びドナー登録者の増加を図るため、ドナーとその方の勤務する事業所に対し、助成金を交付した。

・交付実績

区分	件数（件）	助成金額（円）
ドナー	2	400,000
事業所	0	0
合 計	2	400,000

感染症対策係

1 予防接種事業

(1) 定期接種

ア ロタウイルス感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

(ア) 1価ワクチン

- ・対 象 生後6週から生後24週までの間にある者
- ・回 数 4週間以上の間隔をおいて2回

(イ) 5価ワクチン

- ・対 象 生後6週から生後32週までの間にある者
- ・回 数 4週間以上の間隔をおいて3回
- ・接種状況

（単位：人）

		勧奨対象者数	被接種者数
1価	1回目	621	586
	2回目		594
5価	1回目		23
	2回目		21
	3回目		25

- ・接 種 率 1回目 98.1%
- 2回目 99.0%

イ 小児の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回 数 （開始月齢により異なる。）
生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）

生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）

生後12月から24月に至るまで：2回

生後24月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
初回 1回目	621	614	98.9
初回 2回目		627	101.0
初回 3回目		652	105.0
追加	649	637	98.2

ウ B型肝炎

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 1歳に至るまでの間にある者

・回数 3回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	621	615	99.0
2回目		623	100.3
3回目		605	97.4

エ 五種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ）

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 生後2月から生後90月に至るまでの間にある者

・回数 1期初回 20日以上の間隔で3回

1期追加 1期初回終了後、約6か月～1年半経過した時期に1回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1期初回 1回目	621	618	99.5
1期初回 2回目		624	100.5
1期初回 3回目		649	104.5
1期追加		623	100.3

オ 四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 生後2月から生後90月に至るまでの間にある者

・回数 1期初回 20日以上の間隔で3回

1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回

・接種状況

	被接種者数（人）
1期初回 1回目	0
1期初回 2回目	0
1期初回 3回目	3
1期追加	242

※三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）接種状況 5人

カ B C G（結核）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回 数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
621	642	103.4

キ 二種混合（ジフテリア・破傷風）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 11歳以上13歳未満の者
- ・回 数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,215	964	79.3

ク ヒブ感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回 数 （開始月齢により異なる。）
生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）
生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）
生後12月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	被接種者数（人）
初回 1回目	1
初回 2回目	0
初回 3回目	1
追加	64

ケ 急性灰白髄炎（ポリオ）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

- ・対 象 生後2月から生後90月に至るまでの間の、ポリオワクチン接種の必要回数（4回）を終了していない者
（生ポリオ2回終了した者は除く）
- ・回 数 1期初回 20日以上の間隔をおいて3回
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・ポリオは四種混合及び五種混合に含まれているため、接種が必要となる場合は、三種混合を受けていた場合のみ
- ・接種状況 4名

コ 麻しん・風しん混合（MR）

（ア） 1期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 ①生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
②令和6年度内に生後24月に達する、又は達した者であって、MRワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかった者
- ・回 数 1回
- ・接種状況

a 対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
649	662	102.0

b 対象者中②に該当する者

被接種者数（人）
8

（イ） 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 ①5歳～7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児相当）
②令和6年度における第2期の対象者であってMRワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかった者

- ・回 数 1回
- ・接種状況

a 対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
958	856	89.4

b 対象者中②に該当する者

被接種者数（人）

サ 水痘

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後36月に至るまでの間にある者
- ・回数 3月以上の間隔において2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	649	631	97.2
2回目		623	96.0

シ 日本脳炎

(ア) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 6日以上の間隔で2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	789	758	96.1
2回目		781	99.0

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1期初回接種終了後おおむね1年経過した生後90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
789	746	94.6

(ウ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 9歳以上13歳未満の者及び予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
-----------	----------	--------

1, 220	1, 041	85. 3
--------	--------	-------

ス ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

(7) 定期接種

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子
- ・回 数 3回（9価1回目の接種を15歳未満で受ける場合は2回）
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	2, 629	327	12. 4
2回目		353	13. 4
3回目		126	4. 8

(イ) 経過措置

- ・実施期間 通年（令和8年3月31日まで）
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女性で、令和4年4月1日から令和7年3月31日の間にヒトパピローマウイルス感染症予防接種を1回以上接種している者
- ・回 数 1回又は2回
- ・接種状況

	被接種者数（人）
2回目	160
3回目	300

セ 風しん（第5期）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 医療機関で個別実施
- ・対 象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性であって、令和6年度末までに抗体検査を実施した結果、風しんの抗体が不十分な方であってMRワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかった者
- ・回 数 生涯1回
- ・接種状況

被接種者数（人）
7

ソ 高齢者の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 ①65歳の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自

己の身の日常生活行動が極度に制限される程度の障がい有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する者で、接種を希望する者
 ※過去に接種歴のある者は対象外

- ・回数 生涯1回
- ・助成額 5,700円
- ・接種状況

(7) 対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,884	611	32.4

(イ) 対象者中②に該当する者

被接種者数（人）
0

タ 带状疱疹

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①年度末年齢65、70、75、80、85、90、95、100歳及び101歳以上の希望者
 ②60歳から65歳未満の者であって、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する者で、接種を希望する者

- ・回数 生涯1回

(7) 生ワクチン

- ・接種回数 1回
- ・助成額 5,700円

(イ) 不活化ワクチン

- ・接種回数 2回
- ・助成額 15,000円
- ・接種状況

a 対象者中①に該当する者

		勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
生ワクチン		10,401	498	4.8
不活化	1回目		2,659	25.6
ワクチン	2回目		2,555	24.6

b 対象者中②に該当する者

被接種者数（人）
0

チ 高齢者インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～3月31日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいや、及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいやを有する者で、接種を希望する者
- ・回数 年度内1回
- ・助成額 3,500円
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
49,936	28,194	56.5

（対象者数は65歳以上の人数）

ツ 新型コロナウイルス感染症

- ・実施期間 10月1日～3月31日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいや、及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいやを有する者で、接種を希望する者
- ・回数 年度内1回
- ・助成額 12,100円
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
49,936	5,341	10.7

（対象者数は65歳以上の人数）

(2) 任意接種

ア 小児インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①生後6月から小学校就学前までの希望者
②小学1年生以上中学3年生までの希望者
- ・回数 ①生後6月から小学校就学前まで 2回
②小学1年生以上中学3年生まで 1回
- ・助成額 1回あたり2,500円
- ・延べ被接種者数 7,467人

イ おたふくかぜ

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 生後12月から小学校就学前の小児の希望者
- ・回 数 生涯2回
- ・助 成 額 1回あたり 3,600円
- ・延べ被接種者数 947人

(3) 風しん予防対策事業

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 次のいずれかに該当する方
 - ①妊娠を希望している女性およびその配偶者
 - ②妊娠している女性の配偶者

ア 風しん抗体検査

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 2,000円
- ・受診者数 12人

イ 風しん予防接種

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 3,000円
- ・被接種者数 108人

ウ 麻しん風しん混合予防接種

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 5,000円
- ・被接種者数 61人

2 すくすくナビ事業

- ・登録者数 7,802人

3 新型インフルエンザ等対策事業

新型インフルエンザ等が大流行した場合に必要な備蓄品の管理及び補充

健康づくり係

1 健康増進計画推進事業

(1) 重点領域の推進

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取組を行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

ア 関係機関

健康増進計画推進懇談会参加者（保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等）及び庁内ワーキング構成員

イ 主な取組

- ・糖尿病等の生活習慣病予防に関する出前講座の実施、普及啓発
- ・野菜摂取・減塩促進のための動画を配信
- ・季節毎に野菜を使ったレシピを作成し、市内直売所等に設置
- ・食生活改善推進員協議会活動の推進
- ・適正飲酒に関する普及啓発
- ・とちぎハート体操、ラジオ体操の普及啓発
- ・ちょこっとウォーク～スニーカービズ～の実施
- ・市内のとちぎ健康づくりロードの周知
- ・妊婦や未成年に対する受動喫煙をなくすための普及啓発
- ・禁煙に関する普及啓発及び禁煙相談機関の周知
- ・こころの健康相談、こころの健康サポーター養成研修会等の実施
- ・こころの相談窓口一覧を封入したポケットティッシュの作成、配布・設置
- ・歯周病予防の動画の普及啓発
- ・市内中学校での口腔ケア指導
- ・健康診査・検診の実施及び受診勧奨

ウ 健康増進計画策定懇談会、庁内ワーキング会議

現行計画の計画期間が、令和7年度をもって終了となることから、次期計画の策定に向けて、健康増進計画策定懇談会および庁内ワーキング構成員から意見をいただいた。

・実施内容

月日	参加数(人)	内容
第1回 7月17日	26	(ア) 第2次栃木市健康増進計画の素案について
第2回 1月29日	38	(ア)（仮）栃木市健康計画21の素案について (イ) 睡眠に関する主な問題と対策の方針について (ウ) グループワーク「よりよい睡眠を得るために」

(2) 健康都市宣言の普及啓発

「あったかとしぎ健康都市宣言」の周知のため、栃木保健福祉センター等にパネルの設置、懸垂幕やのぼり旗の設置、集団検診受診者に対してチラシの配布を実施した。
また、健康増進普及月間には市内にある電光標示板で周知した。

(3) 事業所と連携した生活習慣病予防事業

市内事業所と連携しながら、従業員を対象に壮年期の課題を含めた健康づくり事業を実施した。

ア 事業所への健康通信の送付

(ア) 回数 6回

(イ) 送付先 栃木市企業連絡協議会加入事業所 44社
栃木商工会議所、大平町商工会、藤岡町商工会、都賀町商工会、
西方町商工会、岩舟町商工会、栃木地域産業保健センター、エクサ
ビズ協力事業所

(ウ) 内容 ・生活習慣を予防しよう
・熱中症を予防しましょう
・歯周病を予防しましょう！
・とちぎ健康づくりロードを歩いてみよう!!
・内臓脂肪型肥満に気をつけよう
・睡眠による十分な休養がとれていますか

イ ウェルワークとちぎ会報への記事掲載

(ア) 回数 6回

(イ) 対象 ウェルワークとちぎ加入事業所 約400事業所

(ウ) 内容 アと同じ

ウ 生活習慣病予防講座の実施

(ア) 回数 4事業所

(イ) 参加人数 153人

(ウ) 実施内容 熱中症予防や生活習慣病予防の内容を中心に、事業所の健康課題
や希望に応じて講話を実施

エ エクサビズ登録事業所事業

生活習慣病の発症を予防するため、働く世代が日常生活の中でからだを動かす時
間が増えることを目指して実施した。

(ア) 登録数 48事業所

(イ) 健康づくり通信の配信

・回数 6回

(ウ) 体力測定会

・回数 1回

・参加者 4事業所13名

(エ) 事業所へのアンケート

・実施期間 10月15日～10月31日

・対象 登録事業所のエクサビズ事業担当者

・回答数 25事業所（回答率58.1%）

2 健康診査事業

(1) 集団検診実施状況

・集団検診実施回数 102回

・集団検診実施場所 各保健センター、各公民館等

(2) 基本健診受診者数

（単位：人）

健診 区分	特定健康診 査(国保)	特定健康診 査(社保等)	後期高齢者 健康診査	ヤング 健康診査	健康診査	合計
集団	6,143	1,605	4,083	932	36	12,799
個別	1,082	-	1,773	-	-	2,855
合計	7,225	1,605	5,856	932	36	15,654

(3) がん検診等事業

ア がん検診

区 分	実施方法	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	異常なし (人)	要精検 (人)	精検不要 (人)	判定不能 (人)
胃がん	集団	47,963	4,218	8.8	2,492	328	1,398	-
肺がん	集団	47,963	11,367	23.7	6,744	389	4,234	-
大腸がん	集団	47,963	10,957	22.8	10,401	556	-	-
前立腺がん	集団	17,932	4,402	24.5	3,967	406	29	-
子宮がん(頸)	集団	32,055	4,423	23.3	4,344	55	24	-
	(医療機関)		3,058		2,891	139	28	-
子宮がん(体)	(医療機関)	32,055	1,044	3.3	1,033	11	-	-
乳がん	集団	30,509	5,541	18.9	2,233	211	3,097	-
	(医療機関)		237		160	29	48	-

イ 肝炎ウイルス検診

区 分	受診者数(人)	要精検(人)
B 型	1,006	4
C 型	995	2

ウ 骨粗しょう症検診

対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
			正常範囲	要指導	要精検
12,816	1,349	10.5	732	481	136

エ 胃がんリスク検査(ABC検査)

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)			
			A 群	B 群	C 群	D 群	
13,271	535	4.0	430	66	36	3	

オ 歯周病検診

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
19,888	701	3.5	32	89	580

カ 口腔がん検診

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	口腔がん所見(人)	他の所見(人)
78,164	777	1.0	746	1	30

3 けんしんパスポート、けんしんガイドブック送付事業

受診率向上のため、個人ごとに受診券や無料クーポン券などをまとめた「けんしんパスポート」及び世帯に一冊の集団検診日程や内容、予約方法などを記載した「けんしんガイドブック」を送付した。

- ・対 象 20歳以上の全市民
- ・発送時期 5月下旬
- ・対象者数 131,456人 67,791世帯
- ・集団検診予約受付

予約方法	電話等	インターネット	合計
受付数(件)	11,327	8,672	19,999
割合(%)	56.6	43.4	

4 健康マイレージ事業

市民が自らの健康保持増進に関心を持ち、健(検)診の受診や健康づくりに積極的に取り組むためのインセンティブとして、健康マイレージ事業を実施した。

- ・対 象 20歳以上の全市民
- ・実施方法 けんしんパスポートに、ポイントカード及び参加方法の説明を綴り、全対象者に配布
参加者全員にサポートカードを発行（サポート店：38件）
参加者は寄附または抽選を選択できる。
寄附を選択の場合は、市立小・中学校PTAへ500円の寄附となる。
抽選を選択の場合は、当選者に記念品を送付する。

・参加状況及び抽選結果

（単位：人）

区 分	参加者数	記念品当選者数	寄附	商品券当選者数
男 性	223	95	24	13
女 性	374	138	43	37
合 計	597	233	67	50

- ・当選者に対して実施したマイレージ事業アンケート調査
対象者数 350人
回答者数 237人
回収率 67.7%

5 健康づくり事業

(1) 特定保健指導等事業※令和7年度特定健診結果に基づき実施（R7.7月～R8.4月集計）

ア 特定保健指導

特定健診受診者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のため、運動・栄養等の保健指導を行った。

- ・面談場所 各保健センター、自宅、テレビ電話等

・実施状況

区 分	対象者（人）	利用者（人）	利用率（％）
積極的支援	228	109	47.8
動機付け支援	661	277	41.9
合計	889	386	43.4

イ 健診結果説明会

健診結果と生活習慣の改善方法を理解することを目的とし、説明会（個別指導）を行った。

・参加者数 117人

(2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

病期に応じた保健指導を行うことにより、生活習慣の改善や治療に結びつけ、糖尿病の重症化を予防する。

ア 保健指導（外部委託）

・対 象 者 糖尿病性腎症第2～4期の病期（人工透析移行のリスクが高い）にある者

国民健康保険加入者 123人

後期高齢者医療制度加入者（75～79歳） 25人

・実施状況 個別指導5回、集団指導（運動療法）1回

・終了者数 国民健康保険加入者 13人

後期高齢者医療制度加入者 4人

イ 糖尿病予防講座 ～継続編～

・対 象 者 令和6年度特定健診結果で糖尿病境界域段階の者

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、静和地区公民館

・回 数 1クール3回×3コース

・内 容 1回目 講話（糖尿病、食事について）
生活習慣の振り返りと目標設定

2回目 運動実技、歯周病講話・演習

3回目 結果説明会（希望制）

・評 価 3か月後に血液検査（空腹時血糖、HbA1c）を実施

・参加者数 延べ91人

ウ 糖尿病予防講座 ～単発編～

・対 象 者 国民健康保険者（40～74歳）の市民

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・回 数 1回×4コース（各会場2コース）

・内 容 講話（糖尿病・食事・歯周病）、野菜の重量体験、減塩レシピの試食、生活習慣振り返り

・参加者数 29人

(3) 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者のうち、同意が得られた者に対し、年に1回調査票の送付等を行い、医療機関の受診状況や診療状況の確認と、必要に応じて電話等による受診勧奨を行った。今年度は、市の集団検診から6名、妊婦検診から1名対象者を把握した。

また、フォローアップの同意から5年経過した者は終了とし、終了者は増加した。

年 度	対象者（人）	同意者（人）	継続フォロー者（人）	終了者（人）
令和7年度	7	5	23	4
令和6年度	12	11	28	18

(4) 健康教育

ア 健康あっぷ講座

市民を対象にオーラルフレイル予防のための口周りの筋力維持やケア方法について、歯科医師・歯科衛生士が講話を行った。

回数（回）	参加数（人）
1	31

イ 骨粗鬆症予防教室

市民を対象に、管理栄養士・理学療法士が骨粗鬆症予防のための栄養講話と運動講話及び実技を行った。

回数（回）	参加数（人）
1	15

ウ 中学校における歯と口の出前講座

中学生を対象に、歯と口の健康についての講話とブラッシング指導を行った。

学校数（校）	対象者（人）
5	512

エ 出前講座

地域や団体に対し、健康教育を行った。

区 分	回数（回）	参加者延べ数（人）
熱中症	3	73
オーラルフレイル	7	149
生活習慣	6	98
こころ	4	51
糖尿病	2	35
合 計	22	406

(5) 健康相談・栄養相談・禁煙相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師・管理栄養士が必要な指導及び助言を行った。また、集団健診当日（計18回）に生活習慣病予防を目的として、健康相談を行った。

・相談者延べ数 548人（内集団健診当日541人）

(6) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、管理栄養士が個別に慢性疾患の病態に応じた栄養指導を実施し、疾病の早期回復を図った。

- ・実施回数 5回
- ・相談者延べ数 5人
- ・指導内容(延べ件数)

(単位：件)

糖尿病	高血圧	脂質異常症	腎臓病	その他	計
2	1	2	1	5	11

(7) 脳卒中啓発プロジェクト

脳卒中予防に関するチラシを10月の脳卒中予防啓発月間、特定保健指導、出前講座等で配布した。

- ・配布数 1,082枚

(8) 熱中症対策

庁内各課及び庁外関係機関、事業所等と連携を図り、熱中症予防に対する普及啓発、注意喚起を実施した。

ア 普及啓発

- ・市広報やホームページ、マスメディアを活用した取り組み
市ホームページ、FMくらら、ケーブルTV
- ・熱中症対策標語コンテストの開催
市内在住の小学5、6年生を対象に実施
- ・出前講座の開催
市民向け：3回 事業所向け：1回 学童保育：29回
- ・動画放映（熱中症対策動画、BUNBUNSUBUN）
集団検診会場（栃木保健福祉センター）にて放映
- ・暑さ指数を活用した熱中症注意情報の掲示
- ・関係各課及び関係機関におけるチラシ等の配布及びポスターの掲示
チラシ配布数 33,500枚、うちわ配布数 300枚
ポスターの配布 「熱中症からカラダを守ろう」295枚
「熱中症対策標語コンテスト受賞者ポスター」345枚
- ・広報とちぎやSNS、マスメディアの活用、市道電光掲示板、のぼり旗による普及啓発

イ 防災無線放送を活用した注意喚起（期間：4月23日（水）～10月22日（水））
（平日のみ）

- ・熱中症特別警戒アラート 0回
- ・熱中症警戒アラート発表時 13回（警戒アラート発表21回）

ウ 熱中症対策庁内連携会議の開催 2回（内書面1回）

エ 包括連携協定事業所との連携による普及啓発

オ 熱中症対策

- ・指定暑熱避難施設（クーリングシェルター） 104か所
- ・ちょこっと涼み処 132か所

- ・熱中症お助けスポット 28か所（活用実績：経口補水液7本）
- ・移動ちょこっと涼み処 1か所（なつこいにて開催）利用者：1,500名
- ・無料給水スポットの開設（文学館）

利用者数：約3,200人

(9) パワーナップ（お昼寝）事業

パワーナップの心身への効果検証および睡眠に関する情報収集を目的に、睡眠課題を抱える世代である40歳代女性を対象として実施した。事業実施前後では、参加者に説明会や終了会を行った。

- ・周知方法 庁内全職員へインフォメーションを活用して周知
- ・実施期間 2月2日（月）～2月27日（金）
- ・対象者 栃木市職員（会計年度任用職員も含む）かつ年度末年齢40～49歳女性
- ・内容 昼休みにパワーナップを実施し、毎日の体調等を日誌に記録
- ・検証方法 日誌と眠気や不眠に関する調査票を分析
- ・参加者数 31人

6 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等のこころの健康相談を実施した。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 13回
- ・相談人数 29人

(2) こころの健康サポーター（ゲートキーパー）養成研修

こころの健康サポーター（ゲートキーパー）の役割を理解することで、こころの悩みやサインに気づき、自殺予防を図ることを目的に、研修会を市民や企業等を実施した。

- ・実施回数 5回
- ・参加者延べ数 226人

(3) 自殺予防普及啓発

ア 街頭キャンペーン（県共催）

自殺予防週間（9月）及び自殺対策強化月間（3月）の期間中、自殺予防等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、自殺予防の啓発グッズ及び相談窓口一覧チラシ、県作成の相談窓口案内ポケットティッシュ等を配布・設置した。

- ・配布場所 市内商業施設（700個）
こころの健康サポーター（ゲートキーパー）養成研修（150個）
- ・設置場所

期間	実施場所	設置数（個）
自殺予防週間	ハローワーク栃木	200

9月10日～9月16日	社会福祉協議会	100
自殺対策強化月間 3月1日～3月31日	市内認知症カフェ16か所	200
	社会福祉協議会	150

イ 図書館と連携した取り組み

自殺予防週間（9月）及び自殺対策強化月間（3月）を周知するため、市内の各図書館で特設ブースを設置し、こころの健康に関する図書の展示やタペストリーの掲示、自殺予防の啓発グッズ及び相談窓口一覧チラシ、市作成の相談窓口案内ポケットティッシュ、マスクケースを配布した。

・配布数 360個

ウ 大平商工会と連携した取り組み

自殺予防週間（9月）の普及啓発及び健康増進課の事業用チラシとして大平商工会の会員に対してチラシを配布した。

・配布数 500枚

(4) 自殺対策調整会議

栃木市いのち支える自殺対策計画を推進し、自殺を未然に防ぐため、調整会議を設置し、関係機関との連携強化を図った。

ア 参加者

保健医療・福祉・教育・労働等に関わる団体の代表者及び行政機関の担当職員等

イ 会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 8月22日	12	・栃木市の自殺の現状について ・栃木市いのち支える自殺対策計画の進捗状況等について ・健康増進課計画素案について ・ストレス解消についての意見交換
第2回 2月20日	10	・栃木市の自殺の現状について ・栃木市消防本部から自損行為者の現状について ・栃木市いのち支える自殺対策計画について ・事例検討

7 地域保健対策推進事業

(1) 栃木市健康づくり推進会議

市民の生涯を通した健康の実現を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくり活動に関係機関、関係団体、行政等が協働して支援し、住民に密着した総合的な健康づくり対策事業を推進するため、会議を実施した。

ア 関係機関

保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等

イ 会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 7月24日	11	・ 栃木市保健事業概要について ・ 熱中症対策事業等について ・ 栃木市健康増進計画の策定について
第2回 2月5日	11	・ 令和7年度熱中症対策事業について ・ 令和7年度市民健康まつりについて ・ 健康増進計画について ・ 带状疱疹予防接種の状況について

(2) 食生活改善事業

食生活改善推進員（90人）が、地域における食生活改善推進のため、個別訪問活動や教室を開催し普及啓発を行った。また、会員相互の連携及び交流を図るため、グループ活動を実施した。

ア 栃木市食生活改善推進員協議会活動

・ 実施状況

区分		内容	実施回数 (回)	会員 参加者数 (人)	一般 参加者数 (人)
事業	講習会	生涯骨太クッキング	1	9	20
		栃木県産米消費拡大に関する事業	1	4	9
		ヘルスサポーター養成事業 高齢世代	1	4	30
		高血圧予防事業	1	7	6
会議		総会	1	63	-
		理事会	4	30	-

イ 栃木市食生活改善推進員地区組織活動実績集計表

・ 方法別活動状況

集会		対話・訪問		総数		自己学習回数
回数	人数	回数	人数	回数	人数	
197	3,847	378	806	575	4,653	807

・ 項目別活動状況

子どもの健康・食生活		若者、働き世代の健康・食生活		高齢者の健康・食生活		その他		総数	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
100	1,090	182	1,184	293	2,395	0	0	575	4,699

(3) 栃木市食生活改善推進員養成講習会

食生活改善推進員になるための知識や技術の習得のため、講習会を実施した。

・ 回数 6回

- ・実人数 10人
- ・延べ人数 49人
- ・実施内容

開催日	内容
第1回 10月3日	・国民、県民の健康の現状 ・食生活改善推進員とは ・こころとからだの健康づくり ・仲間づくり
第2回 10月24日	・食品衛生と生活環境保全 ・栄養の基礎知識 ・調理の基本 ・調理実習
第3回 11月18日	・食事バランスガイド ・健康づくりと身体活動、運動（実技）
第4回 12月3日	・市の健康の現状 ・健康づくりと生活習慣病予防 ・食育の推進 ・乳児期～成人期の食事 ・調理実習
第5回 12月23日	・高齢期の食事 ・調理実習
第6回 1月16日	・市食生活改善推進員の活動紹介 ・グループワーク ・調理実習

8 がん患者支援補助金

(1) がん患者アピアランスケア支援補助金交付事業

がん患者アピアランスケア支援（外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減する支援）として、がん患者の補整具の購入に要する経費の一部を補助することにより、当該がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図った。

- ア 対 象 ・本市に住所を有すること
- ・市税を滞納していないこと
 - ・がんと診断され、現にがんの治療を行っていること
 - ・がん治療に伴う脱毛、乳房の切除等により就労、社会参加等に支障をきたすおそれがあるため、補整具を必要としていること

イ 交付実績

・医療用ウィッグ

（単位：人）

区分	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	-	-	-	6	13	19	14	-	52
合計	-	-	-	6	13	19	14	-	52

・乳房補整具

（単位：人）

区分	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
合計	-	-	-	8	6	3	3	1	21

ウ 交 付 額 医療用ウィッグ 1,482,000円
乳房補整具 379,200円

(2) 若年がん患者の在宅ターミナルケア支援補助金交付事業

若年がん患者のターミナルケア支援(医師が一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断した18歳以上40歳未満のがん患者に対する在宅療養生活の支援)として、若年の末期がん患者の在宅療養に要する経費の一部を補助することにより、当該患者及びその家族の経済的負担を軽減するとともに、在宅療養生活の質の向上を図る。

- ア 対 象 ・本市に住所を有する者
- ・18歳以上40歳未満の者(18歳又は19歳の者であって、児童福祉法第19条の2の第1項の規定による小児慢性特定疾病医療費の支給を受けている者を除く。)
 - ・がん患者(医師が一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断した者に限る。)
 - ・在宅療養生活の支援及び介護を必要とする者
 - ・他の助成制度による助成金等の交付を受けることができない者

イ 交付実績 1人
ウ 交 付 額 11,700円

9 地域看護

成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問指導数 48件
- ・内訳(延べ件数) (単位:件)

精神保健	生活習慣病	他の疾患	その他
5	50	0	0

10 市民健康まつり開催事業

- ・実施日 11月9日(日)
- ・会 場 栃木保健福祉センター (単位:人)

協力団体名	実 施 内 容	参加人数
下都賀郡市医師会	健康に関する講演会・落語	120
下都賀歯科医師会	歯科相談、保健指導、DVD上映、歯と口の健康づくりについての歯科保健指導	60
下都賀歯科衛生士会	上記の内、保健指導	37
栃木地域薬剤師会	お薬相談、禁煙相談、調剤体験、手指消毒の仕方	80
栃木県栄養士会 県南支部	フレイル予防の食生活をテーマにした展示、個別食生活相談、握力測定、カルシウムチェック	209

栃木市食生活改善 推進員協議会	食事の大切さに関するレシピやチラシ配付、 1日分の野菜の重量体験	98
J A しもつけ 栃木農産物直売所	地元産の新鮮野菜と果物販売	90
N P O 法人 蔵の街ウェイブ	精神障がい者への理解を深める活動 (相談、パネル展示等)	20
とちぎメディカル センター	筋力測定、ロコモチェック、骨密度測定、も の忘れチェック	288
保険年金課	特定健康診査の普及啓発（チラシ・啓発品の 配布等）	250
健康増進課	健康に関する模型展示、健康啓発動画の上映、 血管年齢測定、骨波形測定、体組成計等	714
各ブース来場者（延べ人数）		1,966

11 イベント等での健康啓発事業

(1) 健康啓発チラシ設置

ア TMCしもつが市民公開講座

- ・実施日 8月2日（土）、9月27日（土）、2月14日（土）、3月14日（土）
- ・会場 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

イ ど田舎にしかた祭り

- ・実施日 12月7日（日）
- ・会場 道の駅にしかた西側の田んぼ

(2) 健康情報コーナーの設置

ア くららフェスタ

- ・実施日 3月8日（日）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）
- ・内容 ベジチェック、骨ウェーブ、野菜の重量測定、健康関連情報の設置